

第202回簡易アンケート自由意見（568件）

質問12 最後に地震への備えについてご感想・ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

1	「禍は忘れた頃にやって来る」を肝に銘じたいと思いました。都市直下型地震は、いつ起きてもおかしくない状態です。
2	「災害用伝言サービス」には両親と夫共に登録済みですが、いざとなったら使用できる自信はありません。
3	「地震の備え」のようなアプリなどを開発して、家族構成や住んでいる場所等の条件を入力することによって避難に必要な物や数量の目安がわかるようなものがあったら良いと思います。 また、自助も大切ですが、共助できる地域づくりに力を入れて高齢者や乳幼児のいる家庭などを守れるようにしなければならないと思います。
4	「非常持ち出し」を用意している。 避難所が遠く、クルマもない、年寄りである・・・などから、避難所を一か所でなく近くの学校や病院とのタイアップなど複数の避難所を設けることではないだろうか。役所などとの連絡網も準備すると良いと思う。
5	「備えあれば憂いなし」されど備蓄費用がかかるのが頭痛の種です。
6	・自助中心の内容で困惑 ・共助・（近助）について、被支援者（要支援者）のリストアップなど対応を自治会長と協議中
7	1. 一番の心配事は園に通わせている子供と離れている状況で有事が発生した時。夫婦ともに都内での共働きなので容易に園に迎えに行けない事が想定される。 2. 建売新築戸建てを購入して住んでいるが、最初から敷地境界に高さ2mほどのブロック塀があり、地震災害時この塀が倒壊し通行人に怪我などさせないか不安な日々を送っている。在住市民課での塀の調査・補助が近いうちに無くなるとの話を聞いている。
8	10リットルのポリ缶に水道水を入れて風呂場に3日間保管。交換の際 古い水は湯船の水に利用する。
9	171の伝言ダイヤル、平常時に使用できることをしりませんでした。
10	171を体験しても忘れてしまった。 使い方のわかりやすいマニュアルハンドブックがあると便利だと思う（ダウンロード用）
11	1自宅避難場所は小学校であるが、人口密度が高く、実際の避難時に満足に避難できるのか不安である。2避難場所のスペース等、実際に何人の避難を想定しているのか積極的に広報してほしい。3分散避難であるのであれば、どこへ避難するのか具体的に示してほしい。
12	①小生は年少の頃伯父から関東大地震の経験談を聞いていた。（父は村役場に勤務中であつたという。）余りにもリアルだったので今でも心に残っている。 ②成人してからも記憶に残り埼玉における大震災に関する本や新聞記事を読んだ。 ③現在の埼玉県に關係する地震の情報は少なすぎて、かつ現実的でないので関心、備えをする人が少ないのはその理由だと思う。 ④話は変わるが、現在の地震の強度は判りにくい。例えば1と2は判別できない。3と4も、5弱と5強も、それ以上も同様なのである。5段階くらいに整理して体感して判別できるようにすべきである。実際に体験したことのない人には備えることは出来ない。 ⑤地震発生の予測を公が発表しているがあまり意味がない。30年後に何%と言うがそれは何時のことか理解出来る県民はどれほどいるのだろうか。それでも地震列島たる日本には必ず地震は来る。 ⑥地震学者、研究者、行政は考えの根本を変えなければならないのかも知れない。
13	1日の一人当あたり、水3リットルと食料を保管しておく場所が無い家庭が多くあると思います。水、食糧保管用として、地域に各家庭用の鍵付きロッカーのような物があると良いです。
14	1日分程度しか用意していないので、もっと対策しないといけないと思いました。
15	2020年10月台風19号による河川越水による床上浸水被害を経験、情報入手に困った。NACK5と携帯でワンセグを見聞きしたが、コミュニティFM放送があればと思いました。
16	3.11のあとから少しずつ準備をしていましたが、最近おろそかになってしまっており、特に食料品が消費期限が切れていたりするので再点検したいと思います。 市内の避難所にはペット可というところがなく、困っています。小型犬で家族と一緒にないと、暮らしていけない子なのです。県や国からそういった避難所の設置義務を発令して欲しいと感じています。
17	3.11を経験しているが、どのくらいの災害が、今後発生するかイメージできていないため、切迫感、はまだあまりない状態です

18	3.11東日本大震災の時は埼玉県に在住で地震を経験しているので備えは必要と思って準備しています
19	3.11の直後に避難バッグは用意したが、備蓄なども滞りがちでたくさんはやってないので、もう少し危機感を持って考えなければならないとアンケートを通して改めて感じました。まずは備蓄をしっかりと多めにしたいと思います。
20	3日分を目安に備蓄しようと思っています
22	SNSでの情報発信
23	あの震災以降、我が家でも防災意識は高まったと思います。 幸い、津波リスクは低い南区ですが揺れや洪水には備えないといけませんね。
24	アパートなどでの転倒対策を教えてください。
25	あまり出かけないし、耐震の家なので大丈夫だと思っています。心構えはしています。
26	あらゆる備えを考えたほうが良いと思っているが。なかなかできていない。
27	ある程度のもは自分でも用意できますが、今住んでいるマンションでも、管理組合等で幾らかのものを用意しておく方が良いと思います。
28	アンケートに答えてみると、備えが不足していると思った。備えておくことが大切だと思います。
29	アンケートに答えることで災害対策の必要性を再認識しました。
30	アンケートをして、地震について家族であらためて話し合う機会が必要だと感じました。
31	アンケートを通して、改めて準備しなければと思った。備えようと思いつつ後回しになっている人は多いと思う。平時にこそ、行政から注意喚起をして欲しい。
32	いつ、どこで起こるかかわからない自然災害でなく、いつ起きてもおかしくないのが自然災害であることを肝に銘じて備えていきたい。
33	いつ、起きるかかわからないので、ガソリンを入れておくなどしておきたいと思いました
34	いつか必ずくると思っているが 十分な備えは出来ていない。
35	いつかは大地震がくると思うのでもっと災害用品の備蓄を増やしたいと思うが置いておく場所の確保から考えないといけないのでつい後回しにしてしまう
36	いつか備えをしなければ、と伸ばし伸ばしになっています。お金もかかるので、気合がないと難しいですね。埼玉県で何か、補助などあればやる気になるかもしれないです。
37	いつくるかわからない地震に対する備えは難しい。 ただ、国内いたるところで地震が発生しているのでいつ身近で起こっても不思議ではない。 無駄のように思えるかもしれない準備がいざというときに役に立つと考え備えていこうと思います。
38	いつでも出来ると、安易に考えず、確実にやるのが大切と思う。
39	いつと言うより、明日には、と思って過ごしてます。
40	いつも、いつ地震があるかわからないから、なるべく物は所定の場所にしまおうと心掛けています。 食料備蓄は、通常使う物を多めにストックしているだけですが、常に使うのでうまく新旧入れ替わっています。
41	いつも大変お世話になっております。 地震対策は、個人ではなにもしていません。 自治会（町内会）の備蓄が、どこまであるのか不明ですが、ここに問題解決策の一つがあるかも知れません。 人口の多い都心部と、少ない地方でも対策が違うようにも思います。 トンガ沖の火山噴火を観ても、地盤の上にある原発は、どんなに調査結果を重視されても、「それは、原発ありき」から始まっている視点です。 これに関して、海底の地下資源の開発（メタンハイドレート）で、日本は資源大国になる可能性が話題になっていますね。 これは、30年後かも知れないけど。 寺田寅彦の時代から、「天災は忘れた頃にやってくる」の繰り返しです。 ネット時代にできることは、日本全国への人口の分散化が、必要と考えています。 例えば、宮崎県と埼玉県の協力で、人口の分散化協議会があるのも興味深いかも。 これは、奇想天外は発想かも知れません。 埼玉県庁職員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り致します。
42	いつ何が起きてもおかしくないと思い、非常食や水、ヘルメットなど用意してみました。しかし、重たくて実際もって逃げるのは不可能かも。
43	いつ起きてもおかしくないと言われてはいますが、なかなか備えまでできていない実態です。
44	いつ起きるか分からないので、常に意識はしている。
45	いつ起きるか分からない震災、日常生活の中でどうしても「そのうちやればいかな」と感じがちなのが正直なところ。こういったアンケートで、危機感を改めて感じる機会になったと思うと、公共機関による啓発活動は大事だと思った。
46	いつ起こるかもしれない地震に普段からの備えが必要な事を改めて考えた。

47	いつ起こるかわからないけれども、他人ごとではないので、定期的に点検したり家族と話し合うようにしている。
48	いつ起こるかわからない災害に対し、これで本当に足りるかな？と思いながら、日常の買い物ついでに備蓄品を増やしています。また家具は全て固定し、扉はスライド式又はストッパー付きにしています。それでも東日本の震災の時は思いもよらないものが上から落ちてきたりしたので、時折点検しながら生活を送って行きたい。
49	いつ起こるかわからない地震などの災害に備えて、物品の備えはしているのですが、連絡手段や集合場所などは決めていません。実際に災害の状態になっても、ネットはつながるのではないかと、甘い期待をしています。東日本大震災の際にもTwitterは繋がっていたので。そんな甘い考えを払拭するような、体験会があるといいなと、他力本願で思っています。集団で、避難訓練のような体験型のものがあれば、その深刻さや備えの必要性を肌で感じられるのではないかと思います。県でもそのような企画をお願いします。
50	いつ大きな地震が来るか分からないし、もし来た時にどのような感じになるかはその時々で違うと思うので常に覚悟を決めていて、即死しなければその後は臨機応変に清濁併せ呑む気持ちで対応していくしかないだろうなあ〜って思ってる。
51	いつ天災に襲われるかわからない。脅威は地震だけではなく、火山噴火も取り沙汰されている。これについても情報が欲しい。
52	いつ発生するか災害は予測できないので必要品は最低限準備している。避難地での水、食料、寝具用品などの情報は定期的に知らせてほしい。
53	いつ来ても不思議ではありませんよね。阪神淡路大震災では、被災地に住んでおりました。東日本大震災は、被災地支援に出向きました。本当に他人事ではないと思うのです。いつ起きても出来るだけのことをしておかないとは思っています。特に私は猫と暮らしているので、避難方法等も含めて準備を進めています。
54	いつ来るかわからないことなので、常に最低の7日分ぐらいの物を用意する
55	いつ来るかわからない災害です。毎日不安が募りながらの生活です。祈るばかりです。
56	いつ来るかわからない災害なので対策はしています。
57	いつ来るかわからないものに対する備えは難しいが、明日来ると思えばできることが限られるが、すぐにできることから始めることが肝心だ
58	いつ来るかわからない大地震に備えての対策は大事だと思います。
59	いままで災害対策としての取り決めをしてなかった。最小限の水と食料は用意しようと思います！ただコンロやガスと揃えることは大変
60	いろいろ準備が必要だと感じました
61	お蔭で現在まで本当に災害そのものの体験がないので現実味が薄いのではとも思ってしま
62	キャンプなどのアウトドアを上手く利用すると身近なものになる。アウトドアグッズメーカーを巻き込んで防災イベントを開催するのも良いのでは。両者にとってもプラスになると思うが。
63	キャンプ用品を増やすような感覚で防災グッズを揃えています。賞味期限が近い非常食を電気・ガスの無い状態でキャンプで食べたりするのを家族が楽しみにしています。大地震が無いに越したことはありませんが、日本に住んでいる以上避けられないので、最低限自分たちの身は守れるように備えています。
64	このところ頻発する地震については、大きな不安を感じる。3.11以来の情報により、ある程度の備えはしているが、実際の場面では、どの程度凌げるか不安はある。いつ起きてもおかしくない今、備えの為の警報は、折に触れて発出していただきたい。
65	これから食料、日用品もしっかり備蓄していきたい。
66	コロナの中で、地震時の避難対策も通常と違うように感じている。そうした点についてアップデートしてほしい。
67	コロナ禍で、濃厚接触者などでの一週間程度の自宅待機を想定、地震などの災害にも準用できるので、もう少し、色々対策していきたい。
68	コロナ禍の中で感染対策を取りながら避難できる場所について、行政で再検討して頂きたいです。現状では密になりすぎます。食料備蓄を増やしたいです。
69	コロナ感染情報が現在の話題で、地震のことは忘れていました。家庭での備蓄は、早速しようと思います。アンケートがいききっかけになりました。
70	しっかりと備蓄をしておくことが必要だと思った
71	しないといけないとは思いますがなかなかできない
72	しなくてはいけないと思いつつきっかけがなくてなかなかできない。何か有効な働きかけがあると助かる
73	しなくてはならないと思っはおりますが、なかなかできず、どうしたら良いのか発信していただくと嬉しいです。

74	ショートメッセージで県内に居住する人に一斉通知する体制を整えておくべきではないでしょうか。また、備蓄品に関しても一括購入・更新（買い替え）できるサイトを用意しておくべきだと思います。また、幸運にも使う機会がなかった場合に、家庭でうまく調理するためのレシピなど（乾パンとかは普通に食べにくいので）が提供されるといいと思います。
75	スマホ等の通信手段が多様化しており、親子を含め家族全員がスマホを所持しており、日々の連絡報告手段として活用している。地震を含め災害や緊急連絡の必要がある場合は、何時でもLINEを使つての連絡が出来ると確信している。
76	それなりに準備していても、何故かふと忘れた時にやってくるので、身構えずできることをやる。
77	そろそろ、大地震がきそうで心配です。食料位は、備蓄したいです。
78	そろそろ大地震も来るかもしれないので備えが必要だと感じた。
79	チェックしてみてもあまりにも何もやっていないのに驚き！
80	できる限りのモノを転倒防止策を講じているが、全ての家具となるとなかなか難しいのが現状。特に仏壇などやや小型の床置き式の場合など、どの様に転倒防止策を施したら良いのか迷っている。冒頭の防災マニュアルブックにも具体的に示されていない！
81	トイレが使えなくなるのは心配
82	トイレが問題になる
83	トイレトペーパー、ティッシュペーパー、水、レトルトカレー、レンチンごはん等必要最小限度のものは、日常生活の中で賞味期限を考慮・消費しながら、在庫を考えながら生活しております。
84	トイレの備えも大変重要だと思います。
85	どうしても起きていない事象に対する備えがおろそかになってしまう。定期的に防災に関する情報を発信してもらえると意識も高まる。 先日の海外での噴火による津波の際、独自の警報システムを用いていた自治体が批判を受けていた。埼玉県には県独自のシステムを使ってもらってかまわないが、手動に頼るといふようなことはないようお願いしたい。
87	どこでもいつでも起こりうるリスクある地震。と思いつつ災害用伝言サービス体験していない。1日か15日に体験してみようと思います。
88	どこまで、備えや対応が必要なものが分からない
89	とにかく安全そうなところへ逃げる 自分のところはコンクリートなのでベランダあたりに移動する。
90	どの自治体の防災対策も役に立たないような気がする。地震そのものの災害対応だけで生活インフラがストップした場合や避難場所も一時しのぎの施設となっていることなど問題点が多すぎる。過去に地震の災害調査に従事した経験があるものにとって、きちんとし、役立つ防災計画を作るべきだと感じている。
91	とりあえず、水の確保は早急にしようと思いました。テレビ（薄型、かなり大きい）の固定の仕方がわかりません。震度4位までは大丈夫でしたが、ちょっと心配です。
92	なにかあったときの何かが何で、その何にたいして行政のどこに連絡して良いのかの表が欲しい。家の窓が割れて雨風が入るが、地元のガラス屋さんにも連絡がつかない時どうするかなど。
93	なるべく意識をし、災害に備えるようにしています。 災害用伝言サービスについては、経験しておくべきだと思います。
94	ハザードマップを学校などを通して配布して欲しい。うちの市は、役所に行かないともらえない。子供を通して家庭に渡れば、意識も変わるのでは無いでしょうか？
95	ペットボトルの水やお茶などは常時一定量用意してありますが、賃貸の家だと置き場所が限られており、それ以上増やすことは難しいです。また非常時用リュックを用意したいとずっと思っていますが、購入費用が捻出できず、購入できません。「日常の生活で手一杯で余裕がない」多分低賃金世帯はこういう方が多いと思います。
96	ペット可の避難所を各市町村で作って欲しいです。
97	ペット防災への取り組みをしています。ぜひ、この点への強化をよろしく願いいたします！
98	ほとんど何もしていない我が家、もう少し危機感を持って対処しなければと思いました
99	ほとんど対策してないことが分かった。
100	まずは命を守り、次に被害の減少に努めたい。ガソリン缶（8リットル）、灯油（40リットル）、炭と簡易燃焼器具を用意済。簡易的発電機と充電式バッテリー装置と専用太陽光発電パネルの用意済。
101	マンション10階に住んでいます。飲料、食料及び簡易トイレもなんとかなると思いますが、ライフラインの停止期間が辛いと思います。猛暑や激寒の時はどうなるんだろう？倒れる高さの家具類は寝起きしない部屋に集中しているので、夜中の揺れでも下敷きにはならないようにしています。
102	マンションが多い地域に住んでいるので、食糧不足が心配です。時々、非常食のみで夕食を作っています。

103	マンションと戸建て、立地の違いで防災の備えにちがうところもあるので、住宅の形態や地形別の備えガイドがあれば知りたい。
104	マンションなので一定の準備はあるが高齢の入居者などへのサポートにまでは検討ができていない。また期限切れの食品や水の処理が寄附などできないのかと思う。
105	マンションに住んでおりますが、マンションの中における防災対策ができていないと思います。
106	マンションの6階に住んでいます。たぶん一番安全な場所ではないかと考えています。ただ電気がストップした場合は食事、トイレ等が出来なくなることを心配しています。
107	マンション住まいで、マンションの備えがないのが怖い
108	めんどくさいと思うだけは済まないと思うので防災グッズ用意が必要です。
109	もう一度、備えを家族で見直したいと思います。
110	もっと意識して準備しなければいけないと感じた
111	もっと準備をしなければと思っていますが、なかなか進みません。
112	もっと真剣にいざというときの事をかんがえて備蓄しなければ、自己責任共助ばかりにゆだねるのは(・・?)広範囲なので。
113	もっと真剣に対策をして欲しい
114	もっと地震対策をしなくてはいいけません
115	やはり、なかなか、準備万端に、いきません。何故ならば、実際に、災害を、経験、体験してなく、準備万端するための、時間が、なかなか、とれなく、他の仕事が、大切であり、後手後手に、なってしまいます。
116	やらなきゃいけないとわかっているのですが、中々手が回らずにいることの一つです。
117	やらねばやらねばと思いつつ、キッカケがないという言い訳をしながら今日に至っている
118	ライフラインの復旧が心配。 小銭が嫌われていますが、停電時には必要だと思えます。
119	以前東日本大震災の後は、水などを入れた防災道具を用意したのですが、賞味期限の関係でやめてしまいました。
120	意外と知られて居ない、して居ないのは「冷蔵庫」傾いて「扉が開く——中のものが使えなくなる」(停電も伴うから)。地震で生命を脅かす最大は「火災」(海の無い県)です。一次的には転倒防止、次に火災防止になりますが、火災で一番の問題は「延焼」です。火災発生しても、消防車は来ない。と認識した対策が必要です。
121	一人ひとりが地震に対して真剣に向き合うことが大切です。
122	一度も震災の被害に遭遇したことがないので、やはり、真剣さが足りないと反省しています。このアンケートを契機にさらに見直したいと思います。
123	飲料・食料のローリングストックや、備蓄の管理に難しさを感じる。賞味期限を忘れて、何年も置きっぱなしになってしまったり、上手く管理ができない。乾電池や、薬も同じ理由で、気が付くと使えない状態になっている。また、浴槽にお風呂の残り湯を貯めておくとよいと聞くけれど、浴室の湿気につながるのではないかと思い、実践できていない。どうするとうまく備えられるのか、その工夫があったら、発信してもらいたい。
124	飲料水、調理用水の準備をもう少し充実する必要があります。
125	飲料水3日分は置き場所が確保できず、用意できていません。必要なのはわかっているのですが、収納の工夫が必要だなとおもいます。良い方法があればと思います。災害用メッセージは、いわゆるガラケー時代には使ってみたことがあります。スマートフォンになってからは試していません。やってみようと思います。
126	飲料水は新品未開封でないとも保存性が悪いので厄介
127	飲料水を貯めて置くのはなかなか難しい
128	何か切っ掛けがないと利用しない非常時のサービス。その切っ掛けが災害時でない事を祈ります。
129	何はともあれ震災は怖いです。なるべく災害に巻き込まれないように努力はしますが、こればかりはその場にならないとはっきりは分かりません。とにかく家族の命は守りたいです。それにワンにゃんこの命もです！頑張れ我が家の5匹のワンにゃんこ！
130	何も対策していないことを再認識できた。 有事に対して、何をすべきか考える必要がある。
131	何も対策をしてこなかったのが、どうすれば良いのか調べようと思いました。
132	何をどうしていいのかわからない。その様な講座等があったら参加してみたい。講座で用意もできたり。
133	何年かに一度なので、備えあれば憂いナシと分かっているけども直ぐ忘れてしまう。 有効期限が来て処分すると・・・
134	何年か前には準備していたが毎年見直すことが面倒になった。
135	家にいる時に遭えば備えは役立つが、外に出ている時だと役立つ。東日本大震災でそうだった。職場からその日に帰れなかった。タクシーで帰り38000円かかった。道が大変混んでいた。東京方面からなら徒歩で帰れたと思うが、仕事で埼玉の奥地に行っていたため。自家用車の通行も制限してはどうか。埼玉は津波がこない。

136	家のスペース不足で備蓄できない。自治会に加入していないが、防災備蓄だけは参加したい。しかし入るか入らないかのオプションしかないので、自治会に防災メニューを作って欲しいと思っている。
137	家屋がどの程度持つのか？明確な判断基準が欲しいと
138	家屋が倒壊したら終わり。生き残った場合のみ有効。
139	家具などの転倒防止、水・食料の備蓄を常に怠らないようにしていきたい
140	家具の固定や、食料や水の備蓄が重要とのことですが、トイレ問題も必須です。阪神淡路大震災でも東日本大震災でも熊本地震でも大問題になっていました。ぜひもっと災害時のトイレ問題を取り上げ、備えるように呼びかけてください。
141	家族で話し合いたいと思った
142	家族で話し合うことの大切さはわかっているのだが、忙しいを理由に関わろうとしない家族がいて、話ができない。自分でできることは食料や水などの備蓄だけなので、それだけはしているが、そのほかは勝手にやるとおこられるのでできない。伝言ダイヤルなども、強制的に練習する機会がないと、やらないと思う。学校や地域など、体験できるところがあるのなら参加したい。避難場所は知っていても、同じ市内の避難場所は遠いので、できれば市町村をまたいでも、近いところに避難させてほしい。地域の安全な場所、（公園とか工場敷地とか）を知らせる地図を作成し、行くまでに危険で遠くの避難場所まで行くのなら、近くの安全な空き地へと誘導してほしい。
143	家族との連絡方法などの質問がありました。まずは災害発生時は自助・互助中心で何とかしないといけないが、その後、公助として水・電気・ガスの復旧にどれだけ時間が係るかという発信がある程度精度良く発信できる事が重要。 なぜなら公共供給エネルギーが復旧する事は物の販売も復旧が可能になる。 従い、公共供給エネルギー供給元は共有経路の把握は故障モード（=どこが破壊された）で修復方法が明確になっている事が重要である。 また、公共供給エネルギー元は供給に必要な補修設備・部品を定め、保管する必要がある。
144	家族と何かあった場合について話し合いたいとは思っているが、離れて暮らす家族自体が、全く関心がない。 死んだら死んだで仕方ないと思ってる。 自分は食料は、自炊をせず、1ヶ月持つパンやカップ麺、ミネラルウォーターを4ケース以上は常備している。 地震の為ではなく、コロナ感染や、元々あまり外に出たくないから。買物も怖いのであまり行きたくないの月に数回で済ませている。 大型地震が発生して何かあれば不安だが、家族が関心がないように自分も死んだら死んだで仕方ないと思ってるので家具固定等はしていない。
145	家族四人分×3日の備蓄はかなりの量で場所を取るのマンション暮らしだととても大変です。 そのような家庭が多いのでマンションの理事会でマンションに備蓄品を設置してもらえます。
146	家庭での備蓄は保管場所がなく、多く準備することは難しい。 自治体の備蓄はアレルギー等を考慮して誰でも食べられるものを多くしてもらいたい。また、どこに行けば確実に手に入るかしっかり広報してほしい。
147	河川等による水害、津波の経験がなく安全慣れしてしまっている現状。差し迫っているという緊迫感を持たなくては行けないが、むづかしい。
148	過去の地震で水道管が割れて階下まで水漏れしたことがあった。マンションで起こりうることを広報してほしい。
149	過信なんですけど あれ程の被害にはならないだろうなと思ってる。
150	我が家には身体障害者と知的障害者がいます。 避難場所のバリアフリー等を考えていただきたい。
151	我が家の作りは、家具は、作り付けのためほとんど家具の倒れは、心配していない。
152	我が家は、地域の防災訓練に参加しているし、防災センターに時々行き、震災時の訓練をしています。みんなで、日ごろから震災への備えの意識を持つことが、大切だと思います。
153	我が家は猫が5匹いるので災害用品はペットの分も多めに準備しています。 水や食料だけでなく、トイレや猫砂の準備も怠らないほうがいいと思います。
154	会社で安否確認できるシステムを利用している。
155	改めてこのアンケートに答えることで再度みずからの準備状態がわかったので改善しようと思いました。
156	改めて必要性を痛感しました。
157	外出時に地震が起きた時を考えて電化製品のコンセントを外して出かけている (冷蔵庫を除く)

158	街や市の備蓄状況が知りたいです。 また、私は築2年の家に住んでいますが、大地震が来た時避難所に行くべきか耐震性を信用して自宅にいるべきか迷います。住宅地が沢山出来ている最中だと思うので、そういった方向への指針があると助かります。
159	各自治会の状況を県が率先して調査して発表して欲しい。 行政もしかり、自治会などの動きは全く無い。 85の自治会がある。それも農村部も含めて大小85自治会ある。 この85もある自治会が一つの方向を向くのは素人リーダーとしては難しい。 しかも市長はそのセンスもない。従って市では災害時の対応は個人任せになっている。 もっとも歴的に災害が少ない市と威張っているようでは市民は個人で個人を守らなければならない状況である。 行政や自治会をあてに出来ない状況です。
160	各自治体や消防、警察、行政が合同で行う避難訓練などがあれば参加してみたいです。
161	各地で行われている防災訓練において、個人で実際に体験できる催しを開催されると良い。
162	学生時代、東日本大震災のときに、大部分の学生が帰ったにも関わらず、大学の食糧配給が残った人の人数分いきわたらなかった経験から、自分での備えが大事だなと思いました。防災セットを気軽に買える（お店によくある、ネットでも取り寄せやすい）と、浸透する気がします。
163	活断層のない地域に住まいを構えたつもりですが、ペットもいるし、できる限り自宅で過ごしたいと考えています。 避難所に行かないひとへの、行政の対応も教えてほしいです
164	感染症対策やプライバシー保護のため、避難所に家族ごとのパーテーションがあると安心です。
165	簡易トイレを用意しているが、使用期限が迫っている製品をどうやって使い切れればいいか悩む。
166	簡単な防災道具や水や食料しか置いていないため、いざ大きな地震がきたときのためにもっと沢山常備しておきたいと思うが、自治体などでも、市民に食料や水のサービスをしてほしい。
167	間もなく期限切れになる防災用の飲料水や食料を頑張って消費しています。消費期限のチェックは大事ですね。
168	関東大震災以来100年余を経ており、また東海、東南海、南海地震発生への恐れも十分に意識し、またそれへの備え意識は常に持つてはいるものの、日常的に出来る範囲では十分とは言えないものがある。
169	危機感が必要だと思う
170	機会があれば訓練への参加をしたい。
171	起きてほしくはありませんが、準備は怠りなくしておきたいと思います。
172	起こらないだろうとたかをくくっている自分に気が付きました。気づきのチャンスがもっと欲しいと思いました。避難訓練的な呼びかけなど。
173	居住地がマンション乱立地帯なため、マンションが仮に倒壊すると避難場所は絶対的に足りない。水や食料の備蓄も倒壊すると意味がない。想定内の地震ならば倒壊しないので一週間は自力で家族を守れるが、10日以上となると支援が必要になってくる。住宅密集地では火事も心配なので、そうした想定外に遭った場合は助けていただかないと思っています。テントもありますが、設営する土地がありません。
174	居住地区は割と安全と考えているものの 震度は予想しがたい 対策は暫時考えて対処したい 特に家族間の確認体制を確立したい
175	巨大地震の予測想定で死者数を出しているが、絶望的な数字で備えても無駄なような気がする。 阪神の断層型は家屋の倒壊、火災による死者、東日本は津波による死者、埼玉県には来ないと思うが津波は日頃の広報、教育で死者を減らせられたと思う。
176	勤務先から自宅までの案内。 交通状況などの迅速な回復を願いたい。
177	近いうちに確実にその日が来ると思っているの、簡易トイレをこの間買った。なるべく他人に頼らないように、いろんなものを揃えたいと思っている。
178	近い将来に大地震が起きることが予想される中、その備えの必要性は感じていますが、なかなか日常生活の中で実際には行動には移すことができず、それをみんなでやるようなきっかけがほしいと思います。
179	近所の一人暮らしの体調不良者への具体的な対応を教えてください。
180	近年では地震が頻繁に起きているから、再度確認し最小限の被害に収められる様に再度確認しよう、又は高齢で足が不自由なこと事もあり、考えさせられる。
181	具体的に、どう行動するのか、正直、定まっていません。

182	具体的にどのくらいの備えをしておけばいいのかりストがあると準備しやすいと思います。 また自治会に加入していない人も多いのでそういう人と日頃から自治会費を払っている人との差別化がないと自治会費を払っているひとから不公平感が出てしまうと思います。
183	熊谷市は施設アセットマネジメントを実施予定なので、避難所のあり方を検討して方針等をもっと広報して欲しいです。 前回の台風の際結局避難所がいっぱいで家族バラバラに避難した経緯があります。
184	熊本等の例を見ると、事前訓練の重要性を感じる。自治体レベルの事前訓練の機会を希望する。
185	軍手など少しずつは用意していますが、なかなか全部となると難しく、一人分のセットを家族分購入するのがいいのかなやんでいます。セットになっているものも何かしら足りなかったりするので、何を用意すべきか分かり易いガイドがあるとうれしいです。
186	携帯バッテリーは必要と思う。
187	警報や正しい情報に基づいて判断ができるようにする必要がある。備えは準備ということから普段の行動から取り組めるようにしていきたい。
188	建築基準法に違反するブロック塀が、賃貸住宅にあるのだが、誰も撤去してくれなくて困っている。安全な避難路を作るためにも、ブロック塀を低いものにするなど行政が率先して住民にアピールできないものか？
189	建築士として、出来る限りのことをしている
190	建物・家具などの耐震補強はしたものの最近気になっているのは地盤の強度。 こういったことに対する解説が簡単にできる方法などの解説があってほしい。
191	建物の耐震性診断に係る経費の公費補助があると信頼性のある診断が期待できるのではないかと考えています。 災害等、浸水地域に関するもう少しきめ細かな情報があるとよい。
192	県の広報誌で災害用備蓄について特集して欲しい。
193	県市町村の水や食料の備蓄や管理がどうなっているのか分からない
194	県民に対して地震の備えに関する知識を浸透させ、実行するように事業を継続してほしい。
195	現在、会社員なので、会社の災害伝言ダイヤルで管理されている。
196	現在いるところが危険ではどこも行くところがない。
197	現在は千葉県住まいだが、東京時代には、かなり地震が多かったという記憶である。備えと言えるかどうか、阪神・淡路大震災を経験された同業者の体験を参考にして、家具の置き場所など、それなりの工夫はしております。
198	個人の対策より、行政なの避難勧告などをきちんとやってほしい
199	古い建物に対して、耐震耐火の支援をもっと積極的にすすめて欲しい。すべての建築物を耐震に強いものに建て替えることは不可能だと思います。 加えて、災害は起こることを前提とした対策、啓蒙をもっと積極的にすすめて欲しい。危機意識は持っているが具体的にやるをしたらよいのか、今ひとつわからないし、できていない。
200	固定道具等色々購入しているが、見た目の体裁なども気になり、なかなか全部の固定までに至っていません。
201	公助は期待できないということがコロナでよく分かりました。アンケートも自助の話だし。地震もダメだろうなあ。
202	広報、広聴活動の推進をよろしくおねがいます。
203	更に検討し対策を打つ予定です。
204	行政が必要な事は、適宜に広報・案内してくれるので心配はない。自治会でも備えはしている。
205	高齢なので子供任せです。
206	高齢な母（認知症あり）、犬と猫がいます。何かあった時は避難場所にはいかず（犬猫は入れてもらえないと思うので）自宅に残ろうと思っています。
207	高齢者向けの地震に対する安全の具体的な方法を教えてくれる場を用意してもらいたい
208	今は穏やかな日常を送っています。 でもいつか何らかの災害に突然遭うと思います。 その時に備えて対策準備をしなくてはと思いました。
209	今は地震だけでなくいろいろな災害に備えないといけないと感じている。県の方々もやられているとは思いますが、ぜひ県民にも周知徹底を宜しくお願い致します。
210	今まで何もしていなかった。 これを機会に再考してみる。
211	今回のアンケートで、日頃から備えをしておきたいと考えた。
212	今回のアンケートで自身がほとんど何も備えていない事がわかった。 家族と相談し、自助力を上げたいと思う。
213	今回のアンケートは自分の危機意識を向上させていただきました。 これからもアンケート調査のみならず、[気付き]などをあわせてPRしていただきたくよろしく願いいたします。



214	今後に備えて考えていきたいと思います。
215	今後は身近な事として、考えていく考えです
216	今後も備えていきたい。
217	左半身に障害あり避難所生活出来るのかが心配です。
218	最近、地震が多く、首都圏はいつ大地震が来てもおかしくないので、家族でもっと話し合いなどをしたいと思いました。
219	最近、頻繁に地震が発生している。 現在、家具等の転倒防止対策を検討しているが、どの様な物を取り付けたら良いのかが分からない。 又、費用がどれくらい掛かるのかが詳しく知りたい。
220	最近の火山噴火等見ると、備えは必要だと思えます。非常水と持ち出し袋を含め、少しずつ備えを増やしています。
221	最近自然災害が多く、規模が大きいのので、何を備えておけばいいのかイメージがわからない。被災時どこにいるかで必要なものも異なるが、在宅時を想定して準備している。避難所へ行く際、持ち出ししやすい量の「避難バッグの中身」を紹介して欲しい。
222	最近全国的に地震が多いので、しっかり備蓄をしておこうと思いました。
223	最近地震が多くなったと感じており、徐々に部屋の荷物を整理して、食料を確保しようと思っております。
224	最初はなかなか通じなかった
225	最低3日間の食料・水は備蓄済、避難場所も家族で打ち合せ済（避難場所の収容能力に疑問があり困難が予想されるが）だが、火災が発災すると全焼地区と説明を受けているので地震で火災が起きるのが心配だ。
226	最低限の準備とは難しい！
227	災害があった際には、近所の小学校が避難先に指定されているのは認識しているが、自宅待機という選択と、どちらが最良なのか悩ましい。
228	災害がいつ起きるか分かりませんが、今の所対策をするつもりは無いです。
229	災害が起きた後の生活の仕方のシュミレーションを各人が行う事が大切だと思います。
230	災害が起こらないことを常に願っています。
231	災害ダイヤルを聞く方を体験を保育所の訓練でした事がありますが、自分が伝言を残すやり方は分かりません。 なので、家族との連絡手段には今のところ使えませんが、やり方が分かれば使いたいです。
232	災害にあったとき、市が何をしてくれるのか？全く理解できない。アパートに30年以上住んでいるが、安否確認のシステムが無い。広報も届かない。市から自分で毎月取りに行くように指導を受けている。大企業の訓練や、システムに全く及ばない管理体制と思う。市の職員の顔も浮かばない。全く機能していない言葉だけの防災システムと思う。
233	災害については考えなきゃいけないと思っておりますが、なかなか出来ないのが現状です。
234	災害にての備蓄は万全を期しているつもりでも、定期的にチェックしないと期限切れ（賞味期限）又内容不足等が発生するので定期的にチェックしています。
235	災害に対して、最低限、何をすべきかを教えて欲しい
236	災害に対しては、万全に準備したいという気持ちはあるものの、そのときのみで終わってしまい継続的に対応することができていません。 地域で遊びながら（不謹慎？）でも、準備を継続するような取り組みができれば、参加したいと思います。
237	災害に備えることは重要
238	災害の少ない埼玉に感謝
239	災害の少ない埼玉県なので、つい備えがおろそかになりがちだなあ・・・と感じました。これを機会に家族と話し合ってみようと思えます。
240	災害の備えは自分ですべきであり、行政に頼るのは間違っている。
241	災害はいつくるかわからないのでイラストなどで備蓄このくらいとか伝言サービスのかけ方避難所への行き方これは準備しておいたほうが良いなど誰が見てもわかるようなパンフレット欲しいです
242	災害はいつ来るかわからない。用意してるものとしてないもの、中身の点検、入れ替えを忘れてる 定期的に中身の入れ替えを必須としたい
243	災害への備えはいつも後回しになってしまう。 コロナで浮き彫りになったのは、学校によって有事への対応の差があること。災害時も不安を感じる。隠蔽体質があり、対応には不信感が募る。
244	災害時には、本宅以外に別宅が離れたところにあるので、どちらか安全なところへ移動するつもりでいる。
245	災害時に近場の避難所に行き、翌朝市役所に行き情報収集に努める。その後、防災拠点校である高校を目指す。その為のルート確認を常に行う。
246	災害時に行政側が対応できるようになるまでに時間がかかることを理解し、一人ひとりが多少なりとも準備しておくように適切に広報して欲しいです。
247	災害時の家族間の連絡方法の徹底を再認識した。

248	災害時の対応として、公でできないことを明確にしてPRして欲しい。 一方、自主防災組織の組織作り、活動支援等は潤沢な予算をかけて支援して欲しい。
249	災害時の待機場所などは確認しています。
250	災害時の停電の長期化、地震による屋根瓦の落下など家屋の破損について不十分な点があり、現在対策を講じています。屋根瓦の落下防止について地元業者に見積もりをお願いしましたが、金銭面があり保留中とまっています。 等難しい点もあります。
251	災害時を想定しいろいろと準備したが、それをどこに置くのが一番良いか悩んだ。 結果、家の外に置くことにした。 いまだに悩んでいる。
252	災害時用に備えている非常持ち出しリュックの中身は3月9月にチェックするようにしている
253	災害対策 備えは どこまでやるべきか 不安です。
254	災害対策ってきりが無い気がしてなにをしたらいいのかわからない
255	災害直後はやっていたが171にしても時間が経つと忘れるので定期的にやるようにしたい。
256	災害用の水、食料を備えることが大切だとわかり、今後準備するように努めたい。
257	災害用食料は用意しているが、水を沸かす手段がない。
258	災害用伝言サービスは事前に利用しておいた方が良いでしょう。
259	災害用伝言サービスを試してみたい。
260	災害用伝言サービスを体験したいが、体験者募集などの周知が行政でされていない。 もっと、積極的に周知、体験活動を普及すべきだ。近所には高齢者所帯も多く、災害発生時には大混乱でパニックが生じ心配です。
261	災害用伝言サービスを知ることが出来てよかった。できれば定期的に各自治体で研修など行ってほしいと思いました。
262	在住地区は熊谷の中でも地盤も固く、荒川河川敷から高くなっており、地震や水害に比較的強いと言われているが、3.11の時は大地震が関東を襲ったような揺れでパニックになりそうだった思い出がある。長女一家や上の孫が東京住まいで、次女の夫も単身赴任であり、いざという時の取り決めを具体的に決めておく必要アリと思った。飲料水や食料グッズの準備についても確認しておく必要があると痛感。地域の自治会等でも、防災品の貯蔵や避難経路・連絡網の徹底と防災訓練が不可欠と思うが、コロナでここ二年間未実施なのが気にかかる。年度替わりに徹底していきたい。
263	阪神大震災、東北大震災等、大地震を経験し、自助、共助、公助の大切さをものすごく感じています。自助に関して、できる限り一人3日分の飲み水と食料を、最低限確保すること、そしてライフラインを確保する事を目標としています。
264	埼玉には津波なんか来ないし、崩れるような山も近所がないので必要性を感じない
265	埼玉県に住んでいて地震による酷い災害が起きた記憶が無いのですが、いつ起こるかかわからないので備える必要性は感じていますが、正直何をどのくらいどの程度備えればいいのかがよくわからず、今のままだと災害の際危ないのか分からないので、現状の備えが大丈夫か知りたいのともし足りないのであれば、具体的に足した方が良いでしょう、物を示してくれると有難いです。 また、私の家庭には足が不自由な高齢者が居るので、その場合の災害の際の動き方などを知りたいです。特にその内容は経験され方かの意見があるととてもいいと思います。 よろしくお願ひします。
266	埼玉県の場合、多くの方が東京へ通勤・通学している。帰宅難民が多数発生することが想定されるため、その対策について都や鉄道会社と相談してほしい。
267	昨今の日本各地での地震発生の状況から、日頃の備えが大事と実感はしています。また、昨年病気をし、基礎疾患のある身となりましたので、被災時の食事をどうするかも課題です。コンビニ食など塩分が多いため、被災時なるべく自炊ができるように備える必要性を感じています。
268	昨年11月に地盤（岩盤）が硬く、配水場が徒歩5分の場所にある、中古マンション（築27年）を購入し、入居しています。（埼玉県西部）居住中のマンションは4階建てなので共有階段のみです。地震や停電の非常時にエレベーターが止まってしまう心配がありません。
269	山奥の小さな集落は備蓄が多く必要なのはわかるが、首都圏の住宅密集地域の場合は災害物資が支給されるまでの数日間で十分だと思われる。それに、常温の備蓄以外にも常日頃の生活で冷蔵庫冷凍庫にそれなりに食材はあるので、それをまず消費するだけでもかなりの日数分あるのではないかと（電気ガスが止まれば冷蔵庫内を消費する方が先になる）。それに、在宅時に地震に遭遇するとは限らないので、全国各所に避難場所と備蓄倉庫スポットが点在していて、それが誰でもわかるようにいざという時は許可なく利用できるような仕組み作りの方が大事だと思う。
270	山形県ではまだ差し迫った問題としてまだ上がっていないため。
271	山登りをしていたので、簡易コンロ、缶詰等があるので食料には困らない。

272	山崩れ、や洪水の恐れは皆無の場所です。土壌も家屋も一応地震対策してあるとのことですが、どのような地震が来るのか、予想が不可能です。少なくとも、家屋の全壊はありえないと考えていますので、自宅では、庭にテントを張って生活可能かと。ただ、水、電気のインフラ対策は国や市できちんと行っていただきたい。ガスは、簡易コンロなどで応用できますが。地域の人々も自宅では何とか、生活したいとの願望です。最近、水道管の取り替え工事をされていますので、ちょっとだけ安心感があります。
273	子どもが多いので避難は想定しておらず、自宅で過ごせるよう備えているが、食料品や飲料の置き場がなく十分な量のストックが難しい。災害時、夫は出勤してしまうため、母子だけになると避難所へ配給がきたとしても受取に行くのが難しいため、そういった家庭は市内に警察署や消防署、駐屯地がある以上その家族が多く住んでいることからうち以外にも多いと思うので、対策を講じてほしい。備えてはいるが、他の家庭よりも安心できない。
274	子供が大きくなるにつれて、別行動している時間が増えます。しっかり連絡がとれる方法を紙などに記載してカバンに入れるようにさせなければ・・・と改めて思いました。アンケートが気づきになりました。年に何回かはこの気づきを持つ機会があればいいな・・・と思いました。
275	子供の家は近くに在るので、連絡は徒歩でも出来る。子供達を含め、万一家が倒壊したなら栃木県的那須塩原市に別荘があるので、そちらに仮住まいする予定です。
276	子供への支援はあるのにペットへの支援が少なすぎる
277	市の防災リーダー認定を受けており、定期的に学習しています。
278	市街地（準防火地域）なので、火災が怖く地域で火の広がりをどう防ぐか分からない。江戸時代の教訓。誰かが、家を戸別に訪問して提案をすると少しはやる気になる家もあるかも知れません。
279	市報などで具体的な備え方を紹介されていれば参考にします。
280	市役所が流す放送が全く聞こえない、またあちこちから聞こえダブってしまったりしている。高齢者は聞いてもいない。もっと分かりやすく目でも見えるようなアナウンスを希望する。
281	思いついたときは、色々考えたり、行動したりするが、意外とのど元過ぎれば・・・になってしまう
282	思うに、高齢者夫婦であるが災害に対して全く関心がないことを痛感した。これまで、80数年来の人生で災害に遭遇したことがない”安心ボケ”なのだろうか・・・
283	私の身近に発達障害の成人がいるが、想像力が弱い特徴があって、「なってみなければわからない」と言って、家族の話し合いに応じなくて困っている。一番困るのは本人だと思うのだが。家族の力に期待しすぎても却ってよくないこともある。SNSを通じて、「なった時」に的確な情報を発信してくれるサービスをやってくれると良いのだが。
284	私は阪神淡路大地震、東日本大震災の両方とも経験していますが、家具が倒れることはなかったもので、その心配はあまりしていません。いちばん困るのは停電で、こればかりはどうしようもありません。
285	私事ですが、現在つわり真っ最中です。こんな時に地震が発生した場合、辛うじて食べられる食料が食べられなかったら、とても辛いと思います。自らも用意しようと思いますが、県や市で食品の備蓄をしている場合、つわりでも食べられる傾向のある食品の、備蓄や炊き出しなどの提供を検討頂けると安心できます。
286	飼い猫がいますので心配です。
287	時々 地震への安全対策について 情報を流してほしい
288	時々、備蓄物を見直してはいますが、油断すると、期限切れの物が多くなります。年に一度、見直し月間など、国で皆に啓発して欲しいです。
289	自治会でも防災手帳等で備えに対して注意喚起されているが、埼玉県は幸い災害が少ないので少し油断しているところが我が家にはある。
290	自治会で地震発生後の被災訓練を全くやっていない。コロナ下でもやるべきです。
291	自治会の老人単独家庭の情報は個人情報ということで、把握してはいるがおざなり。詳しい情報がとれるようにプライバシーと言わず聴取できるような環境づくりが必要。さもないといざという時情報が役に立たない。（プライバシーに立ち入らない意識が強すぎ、役に立つ連絡網ができない。必要な場合は遠慮なく立ち入ること必要という認識が必要。）
292	自治会運営の理解増進と機能を高めることで家庭と地域の防災意識を向上できると思う。
293	自治会自身が日頃から結びつきが強いので助け合えると思うが、市のサポートが明確化されていないような気がするのでもっとPRして欲しい。
294	自治体からの周知をさらに徹底頂けると幸いです。特にSNSでの発信を強く行ってほしいです。
295	自治体での避難訓練を義務化して住民の意識を高める事が必要。

296	自治体で管理している非常時のトイレやかまどなどはどれくらいの頻度で点検や動作確認をしているのでしょうか？ 市で購入したものの、使えなくなっているものがあるという話を聞いたことがあります。また、組み立て方などはどの程度周知されているのでしょうか？ いざという時にきちんと活用できるようにどんな工夫や対策がされているのか、知りたいです。
297	自主防災会の活動が期待される。演習実施の行政からの積極支援が必要と思う。
298	自助、共助、公助が連携できることを祈っています。避難所が快適に進化していることを期待します。焚火しかない毛布しかない学校の体育館は一晩で体力半減します。
299	自助といっても、家屋が倒壊してしまえば備蓄品は取りに行けない。 やはり、この件に関しては、自助には限界があるので、公的な備えが最も必要だと思います。
300	自助の取組状況とありますが、やはりこの国ばかりでなく、行政も“自助”を前提として考えていることが分かりました
301	自助努力に各自が力を入れるようにPRを推進することが良いと思います。
302	自然災害に対する備えは3つ。 1) 物の備え 2) 行動の備え 3) 心の備え これらの備えは、地震や水害はもちろんだが、感染症対策にも有効である。
303	自宅が危険でなければ、ひとまず、自宅待機がよいと思うが、避難する必要がある場合のタイミング、予定していた避難先（自治体指定の避難所）が使えない（危険）な場合の手段がわからないので、今後の課題にしたい。
304	自宅が築後30数年経過しているので、逃げることを最優先にしている。 昨年隣に建売住宅が建設されたが、我家と比較すると、基礎から全く違いしっかり建てるので、半分あきらめています。
305	自宅での備蓄には限界がある。
306	自宅では色々な備えがあるが、出先（職場含む）でおきたらどうしようと不安だ
307	自宅の倒壊までは心配していないのですが、火事や停電など、また帰宅困難者になってしまふなど家族で避難先を話したりしています。近所の助け合いも必要だろうと漠然と思っています。
308	自宅やその近くで被災し、自宅に戻り生活できれば、備蓄もあるし何とかかなりそうだが、そうでない時どうなるのか考えると大変不安です。
309	自分が防災士でもあるので自助が重要なことは重々承知していますが、一方で行政（公助）側にもやれることがあるのではと思います。例えば防災用備蓄品や家具転倒防止アイテムの購入や設置に補助を出していただくであるとか、啓発の取組みも大切でしょうが市民が具体的に行動できるような働きかけをしていただくとよいのではと思っています。
310	自分の住むところは従来から自然災害が少ないといわれ、実際被災地に申し訳ないほど安全を感じています。しかしその油断はいつまで続くのかという杞憂はあります。心しなければとは思いつつ…
311	自分の所は大丈夫。と根拠のない安心感がある。
312	自力で用意するなら、具体的に備蓄品を明示した方が良くと思う。自治体へ過大な期待をさせないように。
313	実のところ、巨大地震の発生確率70%の実感が薄く必要最小限の事しか備えていない。 もし巨大地震が起きたら”何をしても無駄” としか思えない。その時の状況に合わせた行動が必要で、3つの備えでは不十分。
314	実際に被害に遭われた方にとっては辛い事かもしれませんが、過去の発生事象を繰り返し映像等で共有し、備えの重要性を訴えるのが効果的だと思います。
315	実際に役立つモノは、各自治体が市広く、大量に備蓄するのが一番効果的です。分配問題だけが課題です。個人に任せるのは有効的ではない。
316	車で過ごすことも想定して、防災用品を車にも積んで置いている。
317	車のガソリンは、できるだけ満タン状態にしておきます。
318	車の移動はなし、徒歩で避難。
319	車椅子ユーザーの娘がいるので、避難となれば、車での移動が不可欠になるので、車に携帯電話の充電器、携帯トイレ、生理用品を備えています。

320	<p>借家だと壁に穴も開けられないし、天井も弱いと突っ張ることもできない。重い物を低く乗せて重心を下げ、倒れにくくするような積み方はできるが、それ以上の対策は難しい。</p> <p>多少は壁に穴をあけても原状回復しなくていいのだろうけれど、「多少」が分からないので「All or Nothing」でしか考えられない。</p> <p>法律や条例で「やってもいい」のが分かればやるのだが。</p> <p>綿密な計画ほどトラブルに弱い。</p> <p>災害は「何が起こるか分からない」から災害なのであって、電話などのインフラが停止する可能性もある。</p> <p>出たところ勝負な側面は否めない。「対策するよりも対応できること」が重要なのでは。連絡が取れなくても家に帰れば何とかなる。</p> <p>電車が止まった、橋が落ちた、荒川を渡れない、都内から埼玉に帰れない。</p> <p>歩いて帰れる距離なのに、歩いて帰るのが難しい。</p> <p>そんなとき、埼玉県はどんな対応ができるのか。</p> <p>そもそも、都内に勤務している埼玉県民が多過ぎるのでは。</p> <p>「埼玉に企業を誘致する」ことで「地元で働く」ことが可能になれば、色々と解決する問題があるように思う。</p> <p>コロナ禍において「出社しない」という可能性が提示された。</p> <p>であれば「会社が都内じゃなくてもいいのでは」という切り口があってしかるべき。</p> <p>ここで課題になるのは「埼玉県内の横の移動」が不便であること。</p> <p>南北（縦）の移動はあるが、東西（横）の移動に弱すぎる。</p> <p>地震とセットで考えるべき「津波」に対しても、内陸にある埼玉は、東京よりも被害が少ないはず。</p> <p>「東京が沈んでも埼玉は生き残る」と考えれば、埼玉の価値も上がるのでは。</p> <p>関東平野、起伏の少ない埼玉県は、土砂災害も少なく、沿岸部を持たないので水害にも強い。</p> <p>地震は、埼玉県にとってチャンスと見てはどうだろうか。</p>
321	<p>手ごろな価格で耐震器具が購入できれば良いと思います。</p>
322	<p>首都直下型地震が最も気になる災害です。</p>
323	<p>過去に大きな災害の無かった田舎を頼りにしようかと思っています。そうならないことを祈るだけです。</p>
324	<p>首都直下型地震に備えて、一人一人の備えも大切だと思います。ペットや子供を連れての避難も想定し、大きな体育館や公民館で雑魚寝…ではなく、各家庭ごとに隔離出来るような避難場所の開設をお願いしたいです。</p> <p>また、東日本大震災の際に起きた性犯罪対策もお願いしたいです。</p>
325	<p>首都直下型地震等はいつくるか分かりませんので行政でも積極的に地震災害等をSNSで随時情報発信して下さい。備いあれば憂いなしです。</p>
326	<p>首都直下地震で埼玉県も被害が出ると予想されていると思います。企業などと連携して対策を練っていくことが必要になってくると思います。</p>
327	<p>集合場所は近くの公園だが、小さく人を収容しきれない。</p>
328	<p>住んでいる所は空間、緑が有る郊外で何とかですが自分の仕事先が都会で夫婦でどうしようかとこれから対策を検討します</p>
329	<p>重い障がいのある子どもがいるため、一般避難所で過ごすのは現実的でないと考えています。</p> <p>福祉避難所については設置されるかもわかりませんが、福祉の指定場所は車いす非対応の施設な上に土手のすぐ下にある平屋で、災害の種類によっては危険です。</p> <p>よって、自宅で過ごすつもりで無理のない範囲で準備をしています。</p> <p>しかし、できることをすべてやっているとは言えないので、これからも関心を持ちできることをやっています。</p>
330	<p>出先で地震にあった場合の帰宅方法や帰宅時の県内の休憩・仮眠施設等が決まっているなら告知して欲しい。</p>
331	<p>出来る限り自分たちで生活が出来るようにはしておかないといけないと思っているので、水食料だけではなく災害用のトイレやポータブル電源とソーラーパネルも準備している。また、ペットがいるのでペットのご飯やトイレもストックするように心がけている。</p>
332	<p>出来る限り自分の身は自分で守ると思っています</p>
333	<p>準備しないとイケないことは分かっているが具体的に動いていない 手間と費用を考えると安易にとらえている</p>
334	<p>準備をしたいと思うが、ついのびのびになっている。</p> <p>具体的に何をしたらよいかわからない</p>
335	<p>準備必要性は分かっているがなかなか腰が重く先延ばしになってしまっている。行動に移す何かきっかけがあると良いと思う。</p>
336	<p>準備不足を痛感します。自分で備えないと。</p>

336	女性は特に災害時の備えとして必要物品が多く、荷物も多くなってしまうため、実際に災害時用リュックにまとめていても、いざ避難する際に荷物を持って(旦那が外出中で子供と逃げなければならない時など)逃げるができるか常々不安ではある。
337	徐々に備蓄を増やしていくように考えています。
338	小さなことでも訓練をしておくことが肝要と思っています。
339	少しは備えているが心配
340	少し大きめの地震が来るたびに、防災用品を備えないと、と思います。面倒がってなかなか動けずにいますが、やっと購入するもののリストを作成しました。今回のアンケートでも、「あ、そういえばまだ用意していない…」とドキッとしました。できるだけ速やかに購入したいです。
341	常に 用心しています
342	常に家には災害用として備蓄をしています。
343	常に地震を想定し、行動しています。
344	常に頭の中に非常事態を想定しております。学生時代に十勝沖地震、定年退職時には、東日本大震災等経験済み。必ず来るとの認識を持って行動しております。数日家を空ける時には、冷蔵庫と電話以外の電源は、抜いておきます。小さな事で有っても普段からの意識が大切だと思っています。
345	常時から物と人とコミュニケーションの大切さを認識する事だと思っています。
346	食事の用意だけで、薬とかは用意しておかなくてもよいのか、コロナとの関係はどうなるのか、等不明なことばかりで地震への備えはおよそできていないと感じます。近所がどうしているのかも不明です。
347	食料、水の備蓄のある避難所を明示して欲しい。
348	食料で賞味期限が切れて処分するのに食事で処理しますが、大変面倒です、どうしてますか、知りたいです。処分するのに時間がかかります、すぐ用意しなければなりません。
349	食料と水を用意していますが、トイレの対策をしてません。気にしています。
350	食料は我慢できても、水は生存に不可欠。1週間分の飲料用ペットボトル(2リットル×7本以上)が必要と考えます。トイレ等の生活用水はお風呂の水を貯めておくとかが必要。
351	食料備蓄はしているが家族が多いため理想の日数に満たない。徐々に増やしたい。
352	食料品、飲料水等消費期限等に注意して保管しています。衣料品については陰干し等を行い管理しています。
353	食糧・水など数日の備蓄は必要と感じていますが、すべて満足に対応していません。成り行き任せなところがあります。
354	食糧等の備えについて、いろいろ情報収集をして参考にすればするほどキリがなく、口に入る物は賞味期限など気にしても、以外の物も使用期限があるなどで管理が難しく金銭的にも楽ではないです。
355	寝ているときの安全が一番大事だと思いますので、我が家の寝室には倒れてくるような家具は全く置いてありません。寝ているときに何か倒れたり落ちてきたりする心配がないようにしています。リビングにも高さのあるものは全くありません、大型テレビは壁に固定してあります。キッチンで心配なのは、電子レンジなどの落下と冷蔵庫の転倒です。
356	寝室では建具が、身体に影響しない配置で寝る様にしている。当地(埼玉県東部、岩盤20?)で災害時、利根川の堤防崩壊如何にかかっている。平地で中小の河川の氾濫による2次災害が最大の問題である。市の設置した避難場所には水害の際にはたどり着けない。家が傾かない限り、家に残り2階で救助を待つ。これがこれまでの何回かの避難を試みた時の感想である。
357	寝室には家具は置かず、ベッドのみとしている。
358	新型コロナ感染予防対策しながら、就労をしています。迂闊に風邪引けない責務感あります。冬場で、暖房器具を電気ストーブ、布団乾燥機を毎日よく使用しているので、電気が、通常の月額額の2倍に膨れ上がり、家計簿収支も、我慢強くしていなければなりません。医療保険加入していても、新型コロナ感染対策に万全なのかすら、確認するのも億劫です。追加で、新規に、新型コロナ感染対策にもなる医療保険加入をするのも、家計簿収支の負担が大きく、保険料支払えるの?と自問自答を繰り返す有り様です。地震への備えとしては、地震保険加入者ですが、家屋調査で、地震保険が、あてになるかさえわかりません。黒竹林や、桑の木が、我が家の敷地内にはありますので、地震の揺れを少しでも吸収機能が、あると思います。水害や崖崩れの被災はありませんので、場合によっては、避難所になるかも知れません。介護福祉士としての勤務先での召集出勤も、考慮しなければなりません。備えあれば憂いなし。安全 安心 心のゆとり 健康留意され、普通に頑張ってください。宜しくお願い致します。
359	親が職場で子どもが学校等の場合の対応が問題だと思います。
359	首都直下だと電車も止まることが予想されるので、迎えに行くことができなくなると思います。
360	身近に起きる可能性があるが、備えができていない

361	震災は怖いと思いつつも、どこかで他人事のように思っている自分がいるように思う。気にはなるから「準備のつもり」程度のことはしているが、「まさか…」とも思っているので、中途半端な準備となっている。
362	震災は忘れたころに来ると言われていますが・・・これを機会に備えておきたいです。
363	震災後の対策はどうしたらいいか皆目理解していない。張りめぐされた電線、電柱、ガス管、水道管等の破壊の復旧はどのようにしたらいいか不明。家屋の倒壊、火災対策は如何なものでしょうか？
364	震度による避難目安などを周知して欲しい
365	人は、もちろんの事、ペット用も用意すべき。
366	人間もそうだけど、ペットの避難も重要。 我が家は避難所に行けません。
367	水 食料共に、もう少し増やすことと、転倒防止を考えます。 自身の備えに もっと真剣に考えるようにします。
368	水、食料、石油を家族3人が電気、ガス、水道が1週間止まっても大丈夫なように常置している。
369	水、食料は、自治会などの備えでは、到底足りないなので、各戸が最低限を備蓄できる方法や例を啓発して欲しい。
370	水、食料を備蓄の他にペットのご飯なども未開封1袋を買い置きするように備えています。
371	水、非常時の食料は常に7日以上備蓄しているが実際に大きな災害が発生した時にどの程度役に立つかに不安がありますが最低限出来る事はしていきたいと思います。
372	水も食料も大切ですが「心の備え」が肝心でしょうね。
373	水や食料は日常で使いながら補う形での備蓄をしている。以前は災害用の食料も購入していたが、期限が長くて逆に忘れてしまい、期限切れの食料を出すのが今の時世にあってない気がした。また数日過ごせればそこから先はなんらかの援助があると思っている。マンション暮らしなのだが、建物が崩壊してしまうとつらいなと感じている。
374	水を用意していたが、賞味期限が近づいたので飲んでしまい、補充していない。 飲み終わると補充の水置場が無くなってしまった。 これでは、いけないと思うので水だけでも用意することにします。
375	水以外に何も用意していない事に気づいた。これからでも少しずつ用意していきたい。
376	水害がコワイ、川の整備をしてもらいたい。
377	水害で屋根に上るのが怖い
378	水道栓しめとくこと。3.11のとき 全自動洗濯機の水道栓をあけたまにの外出中被災。5時間水でっぱなしで 我が家のマンションから1階まで水がいき、壁紙などに。保険もです業者よんで修繕。我が家にはえらい出費。くれぐれも外出中の水道栓確認を。
379	昔から居住地域の地盤がしっかりしているから、地震には強いと言われていました。と言うわけではありませんが、周囲の方々の地震への備えという意識は、弱いと思います。
380	全ての災害に備えておくべきだとは分かっているのですが、いつも後回しにしてしまいます このアンケートをきっかけに、備えなくては、と改めて思いました
381	全然備えができていないことに不安を持ちつつできておりませんでした。 早めにやりたいと思います。
382	他に寝袋・携帯ガスコンロを備蓄し、懐中電灯は避難用の中身入りリュックも人数分揃えている。
383	多くありすぎて言えない。
384	体験した話を教えてほしい。
385	対策しようと思うが、なかなか出来ない
386	大きな地震の予知ができるようになるとありがたいです
387	大きな地震を体験したことがないのでピンと来ないのだが、今、防災リュックと室内備蓄を少しずつアップデートしている。ローリングストックとはいうが、ローリングしながら上手く行くものといかないものがありそうだなと考えている(ペットボトルの水を使う習慣がないので、期限が近くなったら食器洗いや浴槽・トイレに使うくらいしかない)。それから、狭い部屋で設置スペースがないなども感じる。
388	大規模災害の時は色々と麻痺するので落ち着いて行動するのを心がけつつ、備蓄用のものは定期に点検する。
389	大型マンションに住んでいて、困った時は管理人さんをお願いしようと思っただけだったので、自分でももっと細かいところまで考えていないとならないなと思いました。
390	大型家具の固定方法としての つっぱり棒(ポール式)は、完全にインチキです。 実際、振動台の上で実験してみれば、簡単に外れてしまう事請け合いです。 あんなものは、業者を儲けさせるだけです。 つっぱり棒(ポール式)は、要注意です。
391	大阪から転勤で埼玉に越してきましたが 神戸の震災の時 実家の大阪の両親と連絡が付かず 公衆電話を探し 連絡が着いた時にはほっとしました、 しかし最近公衆電話が撤去される所が増えてきて 一寸悲しくなります。

392	大震災への対策準備の具体的なことにを対策したい。 独り身なのでそのような人向けの対策もしてほしい。
393	大地震が発生する危険性を具体的に県民に知らせることを考えて貰いたいです。
394	大地震は、必ず来ると思っています。 しかし、その前に自分の最後が来ると思っています。
395	大地震時、連絡手段が失われ、その際の公的連絡方法を常日頃から、公的機関が常に、発信してほしい 事と、個人的には出先で、食料や水の確保情報の共有に努める。
396	大変お恥ずかしいながら、何もできていなかったことです。避難場所については、小学校ということになっていますが、果たしてそこまで自分の足で歩いて行かれるかしら。この頃足の力が弱くなって自信がありません。少しでも歩かないといけないと思っていますが、膝が痛くて残念です。老々家庭なので、不安です。大きな地震が来ないことを祈るばかりです・ご近所さんが大事ですね・・・
397	単身者で狭い住居に住んでいると、日頃からの備蓄の確保がスペースの問題で難しく感じる
398	担当者さま 夏でも、災害時はソバを茹でたりしないから、3リットルも必要ないと思います。一度、測ってみることをおすすめします。
399	筆筒等 筆筒部屋に収納
400	地域での繋がりが必要だと思います。 そのためにどうしたら良いのか、行政頼みなのか、町内会なのか、マンションの管理組合又は自治会なのか、何処がリーダーシップをとって進めるべきか難しいところだと思います。
401	地域での避難訓練、地域の防災組織のリフレッシュを期待している。
402	地域の自治体での備蓄も考えるべきかと思えます。
403	地域の避難所がよくわからない。 場所を教えて貰うだけでなく、調べ方を知りたい。 避難所になる場所を地図アプリ(グーグルマップ、Yahoo地図)などで検索出来るようにして欲しい。 給水や充電ができる場所も検索できるとありがたい。
404	地域の備蓄の食糧が賞味期限切れにならないようにチェックをして欲しいと思います。
405	地域自治体で、毎年夏休みの終わりに、小学校に集まって、炊き出しや防災訓練をやっていました。コロナ禍になってからはやらなくなってしまったので、この状況の中でも、できるならやりたい。
406	地震 災害は大変 怖いのですが ついつい 備蓄を怠っていて どちらかと言うと 自治体を頼りにしてしまいます。
407	地震、噴火等の知識は一応検知している。慌てず落ち着いて行動することことが命を守る最善の方法で、家族に限らず助け合う事が最善の策と考える。
408	地震、雷、火事、親父と言いますが、地震は本当に怖いです。全てが一瞬に破壊されてしまうので。。。地震発生予知技術の進歩・充実を期待します。
409	地震が実際に起こらないと、事前準備の想定をしていても想定外が起こり実際に出来るかどうか、不安です。 懐中電灯や充電池などは用意してあります。
410	地震が発生した時は、対応を家族で話し合うことがあります。喉元過ぎればという感じで忘れてしまうのが現実です。それでも、可能な限り水や食料を買い替えたりして、補充するようにしています。
411	地震など災害では、その時どこで何をしているのかが問題だろうと思います。地盤の比較的良いところで耐震低層に住んでいるので多分自宅避難になりそうです。いろいろ考えてはいますが万全の準備とはいえません。今回の質問にはありませんでしたが、トイレの問題も大きいのではないのでしょうか。それから地下鉄は水が入ってくるそうなので、乗るのが怖くなっています。
412	地震には気を付けている。保険にも入っている。
413	地震には強い家を購入した。地震も怖い、最近では水害が怖い
414	地震に強いと言われている住宅に住んでいる
415	地震に限らず避難所がない。自治体指定の体育館は雨漏りしてて長く居られるとは思えない。誘導案内する市役所職員も特に訓練も受けてないみたいだしとても不安。
416	地震に備えておきたい気持ちはある。だが、家族が家に居るよりも学校や職場にいる時間の方が圧倒的に長いので、学校や職場がろくに地震対策も取っていないのに自宅だけ備える備えろと言われても、全くピンと来ない。
417	地震の場合、家に殺される前に家から出るが最優先。 誰も信じるな人災に殺される。 まさに現在の犬神家の一族が住んで居る八つ墓村で在る。
418	地震の多い日本に住んでいます。東日本大震災の発生時は新宿に居ました。帰宅出来ず、翌日の午後4時頃、自宅に着きました。それを忘れていません。地震の備えは自分のためです。



419	地震の発生確率地図を作成し公表していただきたい。
420	地震の備えについてはどうするか？と家族全員で考えることが大事だと思います。日用品の備蓄をしています。食料品の備蓄をしています。備えあれば憂いなしですね♪
421	地震の備えにはトイレや暖房も重要です。トイレはある程度500リットルの雨水を活用予定。暖房は灯油、プロパンガス、材木などがありますが物足りないですね。
422	地震は、いつ起きてもおかしくない状況から、県・市町村広報誌では、毎月、備蓄品・避難場所、家族の連絡・県・市町村の問い合わせ番号など、ポイントなどを、地震対策情報コーナーとして、常に発信してください。
423	地震はいつくるかわからないから日ごろからの準備が必要だとは思いますが、日常に流されてしまい、準備を後回しにしてしまっている。防災の日や東日本大震災の起こった日のニュースなどで話題にすることもあるが、定期的に家族で話し合い準備をする必要があると思いました。
424	地震はいつ起こるか予測不可能な事もあるので、とても怖いです。少しでも予知できるようにすると良いと思います。
425	地震は最近、発生していますが、備え方が本当に難しくなってきた。非常食の賞味期限や家具の備え方とかが分からない。彩の国だよりの掲載、SNSの掲載・PRをしていただけたら県民の皆さまに理解がしてくれそうですし地震への備えるについて、知ってくれるとありがたいです。
426	地震は怖いと思うものの何もしていないので、これから考えようと思う
427	地震は怖いので、常に対策は考えている。家を建てる時、地鎮祭、地面にくい打ち、上棟式を行いました。
428	地震は忘れた頃にやってくるので、備えは必要だと思います。特に今はコロナにも備えて準備が必要かもしれません。
429	地震への備えが大切なことは理解していますが、何から手をつけて良いのか迷ってしまいます。県のホームページに、防災マニュアルブックというのが閲覧出来ることを知らなかったの、確認したいと思います。
430	地震への備えの必要性は理解していますが、80歳迄そのレベルの地震体験を経験していないためその延長線が続くであろうと実行に移していない。
431	地震への備えは非常に大事です。企業にはBCP、事業継続力強化計画が推奨されていますが、企業を通じて、関係者にも備えを周知、支援する仕組みを作る政策を、埼玉県に提案いたします。
432	地震への備えをもっと自分ごととして考えなければと再認識しました。もし、地震への備えについて、まとまっている資料やWEBサイトがあれば、教えてほしいです。
433	地震以外にも近頃は災害が多いので、少しでも不安を取り除くように備えてはいますが、ペットは預けられる状態ではないためそれだけが心配です。
434	地震学者が大勢いるのだから、地震の起きることを事前に予報として出すべき。特に、国家予算のもとでの地震学者にはしっかりしてもらいたい。
435	地震関連の災害には比較的強い地域だと思っているが関東や東海大地震が発生した際大挙して人民大移動して来られたらきっと自治体崩壊するだろうなあ と思っています
436	地震国なので時々災害について思い出そうにしている
437	地震対策について積極的に詳細に周知が必要です
438	地震対策種々自覚しているつもりだが、体験がない為何とも言えない。食料や水も保管の必要性を充分感じているが、長期間にわたると中々実施が難しい。但、連絡先だけは（子供達や親戚関係）何時でも連絡取れるように携帯電話で確認出来るようにしている。
439	地震大国・日本に住んでいる以上、日頃からの備えはしっかりとしなければいけないと思っている。今後も常に様々な見直しを加えながら、備えを進めていきたい。
440	地震等の災害は増えていると感じます。被害の少ない地域に住むのも大事なので実際に住んでいます。地盤が固く、海、山、川のない地域で高台に住んでいます。大雨でも安心です。
441	地震等の災害時に地元自治会幹部の中には「自治会に加入していない（注：加入していたが高齢で自治会活動ができないため退会した家庭等）人々には、災害支援物資を配らなくてもいい」と話す人もいた。こうした自治会ばかりではないと思うが、災害発生時の支援物資の配布や、避難所での差別につながるような要素を解消しておく方を県として真剣に対応してほしい。
442	地震発生時、自治体からどのように情報を発信するのか日常的に周知してほしい。特にネット環境が使用できない場合など。
443	地震保険と火災保険が年々値上がりで高すぎるので、控除額を大きくしてほしい。

444	地震予知は出来ないので「埼玉県を含む南関東地域では、マグニチュード7クラスの首都直下地震が今後30年以内に70%の確率で起こるとされています。」はデマ。 しかし、備えておく必要はある。 被災者の話ではトイレが一番困ったとの声が多い。
445	地震予知情報を提供して欲しい
446	置く場所にこまる。
447	中国に資産を奪われている日本の情報を流さない報道が怖い!
448	昼間は風呂水は張っておいて、何かあった時のトイレ用にするつもり。 泥水を飲めるようにするフィルターを購入したい。
449	町会ごとの防災訓練等あれば参加してみたいと思います。
450	町内会の会員も以前と比べて何段階かになり退会する人も出てきた。被災時の扱いはどうなるのか???差別されるのか???
451	調理道具 とりわけ携帯コンロは日用ではないか、食料とはいえいろいろある。
452	賃貸住宅の家具固定について、詳細な取り決めをしてほしい
453	津波の心配はないが、地滑りや液状化が不安。ペットがいるので実際には避難所へ行けない。
454	停電時にスマホの充電設備の設置が皆さん助かるように思います。また、有事の際に「乾電池、アルミのブランケット等の防寒具、水、乾パンやチョコレート、水で食べられるご飯類等」が品不足になることなく購入できるような場所（例えばコンビニ）があると安心できると思います。
455	天井近くの配管にバールやロープを含め緊急持出し用品1式を準備しています。又、玄関の近くにテントも準備しています。(
456	転倒防止は充分か気になる。またどこで器具を購入するかよくわからない。案内があるといいです。 災害時に買い占めなどが起こらないよう、皆が事前に準備できるといいです。
457	伝言サービスはやり方がわかりにくいと思う
458	伝言サービスを簡単に体験できるようになれば良いと思います。
459	伝言サービス他対応しなければならぬ事たくさんあると思ってます。
460	電気の対策を全くしていないが、電気として使える物（発電機・蓄電池）も家庭で準備する必要はあるのか?どのようなものが適しているか?などを教えていただけると嬉しい。 (体験談含む)
461	電柱が曲がっている所が多く、地震の際倒れそうで怖い。
462	兎に角自助努力をすること。
463	東日本地震は良い体験になりました。
464	東日本大震災のケースがそうでしたが、電話が繋がらず、ただSNSは生きていました。SNSは、デマや間違った情報も多いことから自治体のオフィシャルで被害状況や交通情報を発信していただけると有り難いです。
465	東日本大震災のような地震が再び来ると、建築家さんから現在の建物が持ち堪えられないといわれている。
466	東日本大震災の際、私は、大阪出張中で、今の171の前の番号（災害時留守録音と留守電確認が違う番号117と114?）であり、新幹線も止まり、帰宅できなくなった。自宅・家族の状況と私の状況を放そうとしたが、回線がパンク状態で家族と24時過ぎまで電話連絡が取れず、19時頃から災害録音にメッセージを残そうとしたが、「対象地区で有りません」とのメッセージが流れだけで、留守録が出来なかった。 対象外の意味の説明も対象地区自体の説明も無く、又、何時から使用できる状況になりそうかの説明もない つまり、埼玉県は、 被害が軽微で対象外か、 被害が酷過ぎて録音・確認サービスが利用出来る状態ではないので、対象外か無意味なサービスと感じ、それを機に、家族にもこのサービス利用禁止と言っている
467	東日本大震災の時、携帯電話が全くつながらなかった。万一に備え、災害用伝言サービスを体験してみたいと思う。
468	東日本大震災の時、仙台に住んでいました。建物などは大きな被害はなかったものの、水道電気ガスなどのライフラインが止まり、かなり不自由な生活をしました。とくにガスは1ヶ月以上止まっていたので、お風呂や料理などでだいぶ苦労しました。なので、なるべくお水や食料はもしもの時のためにストックするようにしています。お風呂の水も入れる時に、前日のを抜くようにしています。 トイレ用の水は、たくさん必要ですので。
469	東日本大震災の時に、防災倉庫が破壊されてガソリンが盗まれる事件がありました。災害時の防犯も、考える必要があると思います。
470	東日本大震災の時は、停電が長く続いたため、テレビからの視覚による情報が得られませんでした。普段からラジオを聞いていたので、ラジオはいざという時情報を知るためには、大切なツールだと思いました。その為に乾電池を切らさずに用意しています。

471	東日本大震災の停電や連絡がつかなかったことなどを教訓にして、普段から地震の備えをしたいと思います。
472	東日本大震災を風化させては、ならないと思う。
473	東日本大震災以降、地震発生の頻度が高くなっているように思う。また、北海道沖及び東南海並びに関東直下型地震の発生確率が高まっているというニュースを目にする機会も増えた。かような状況下、コロナ禍もあり、避難訓練等が実施されていないことを勘案すると、せめて情宣活動を充実させる必要性は高いように思われる。
474	東日本大震災以来、規模の小さい地震で過度な警戒をしていると感じる。適度な対応にとどめることも必要だと思う
475	東日本大震災時に震度5弱を経験したので、家屋と家具類等に耐震補強をした。時期的に危機到来を心配している。
476	東日本盲導犬センターの販売グッズに長期保存用缶のパンがあり、パッケージも盲導犬で凄くかわいいです。一缶400円くらいなので、常備。インテリアとしても、癒やされます。
477	東北大震災時の福島市では、断水が続きましたが、停電・ガス供給停止は回避していました。断水については地下水を利用している方が無償提供してくれたことと、給水車が毎日集会所に来てくれたのでなんとかなりました。食料についても不自由はありませんでした。
478	独居のこともあるが、家具のない部屋を寝室にしている。
479	突然くる地震に限らず予報で備える水害のハザードマップを見ると、避難所が学校とあるが、避難所の運営については、場所が学校であるため税金で報酬が支払われる 特に教員や役所の職員が納税者であり主権者である県民のいのちを守り、生活の不便を対処するのはアタリマエなのであろうか。学校は埼玉の未来そのものである埼玉っ子が将来のために学力・体力・人間力を学習する場であり習熟達成の指導を身に着けてたのが教員。平成の大市町村合併で利根川のあるエリアの方々が先の越辺川や都幾川氾濫を起こした2019台風19号で我先に車で逃げだしエリア内で大渋滞を巻き起こし、拳銃の果てには遠く離れた別エリアの避難所学校校庭ぬかるんだグラウンドへ車で侵入。「体育館では水没する」と教室へ廊下へ「土足で乱入」結果利根川は持ちこたえた。私立34の小中学校校長は深夜の学校へどしゃ降りの中校舎・教室の「鍵」を持ってくるよう呼び出され34学校の校舎が解放された。しかし唯一エリアに小中学校がないため水害レッドゾーンである場所の高校は避難所役割学校解放の要請を受けたにも関わらず高校は協働の学びの相手である地域生活者を受け入れるどころか校門は固く閉ざされたままであった。予測可能でも高校は地域愛壊滅である結果をさらしたことへの課題解決へ向けた姿勢・努力は地元県民生活者には見えてこないのは誠に残念であり他の市内学校へ原因と対策報告に期待したい。
480	南海トラフや東京湾直下型地震が起きるのではないかとされている中、地震に対する対策は非常に重要だと思います。特に持病を持っている人の薬や人工透析などの医療もとても重要だと思います。
481	南海トラフや富士山噴火、関東大震災はそろそろ来ると思う。東京や神奈川に行くときは、死ぬかもと思いながら行ってます。埼玉は、ダサイ玉とか言われていますがこれを挽回するには「地震に強い県」をアピール、取り組みしてほしいです。大企業が富士山のふもとに工場やIT関連施設を作ってるのはアホなんじゃないかと思うくらいで。これをアピールして埼玉に大企業誘致とかすればいいのに。埼玉の下にも大きな活断層ありますけど、埼玉県独自の対策お願いします！
482	日ごろからの災害に備えて食料、衣類や生活用品等を準備していますが、毎年買い替えながら備えていることが大切です。
483	日頃から神経質に、又怖がらない範囲で、物心の準備を心がけて生活する事が良いと考えて過ごしたいです。
484	日頃から備えているのが一番良いが、出来そうで実施していないことがあると感じています。
485	日常的な備えは継続的な買い換えや設置が必要で、収入の高低で対応が大きく変わると思っています。 行政の支援は難しいと思うので、大規模災害になった際の支援を手早く手広くできるようにしてほしいです。 大規模災害は行政の行動力と迅速な判断がとても必要だと思います。
486	日本列島にいる限りどこで地震が起きてもおかしくないとはいつも思っていますが、自分が大変なことになる状況を想像できないので、備蓄はしているもののいざとなったらどんな気持ちになるかまったくわかりません。
487	年齢的に大掛かりな対策はできない。家具転倒防止など必要と思われるものはしており、東日本大震災の時も柏市だが食器一つも壊れなかった。これより大きい地震の場合は仕方ないと思っている。ただ、2階の無駄なものを整理し、2階以上の重量を小さくすることを進めていきたい。屋根への太陽光パネルの設置などもっての外である。自治体によっては太陽光パネルなどを推奨しているところがあるようだが愚の骨頂と言わざるを得ない。重量で倒壊したり、ショートで発火したり感電したりしたら責任を取れるのか。

488	農村部では、現在は飲料不適のため使っていないが、生活用水としてならば使用可能な井戸や清水を持っている方が多数います。こうした方々の情報を自治会の班や隣組といった周知の人達の間で共有することが必要だと思います。市町村単位の情報にしようとする報告を遠慮される方がほとんどのため、行政は仕組みを作り、具体的な登録は、自治会長の会議などの際に進め、各区長が中心となって行うことが良いと思います。
489	避難所が自信に耐えうる場所なのか不安です。
490	避難所での感染症が心配
491	避難所の収容人数について不安がある。避難した場合の地域の防犯（空き巣）対策が立てられないので不安
492	避難所の定員が感染症対策等のために更に限られるので、備蓄などの自助努力が必要と思うが、備蓄しても建物が倒壊したり、火事になったりしたら使えないと思うと不安がある。
493	避難場所だけは把握しているが、その他はあまり準備できていない
494	避難場所は小学校になっているが広さが十分ではない。避難できる場所を増やして欲しい。
495	避難場所は非常食飲料等あるのか気になる
496	避難場所を確認したいと思う。家族との待ち合わせの場所も決めておきたい。
497	非常に重要と考えます。
498	非常時の備えは重要な課題です。チェックを忘れないようにします。
499	備えあれば患いなし、の気持ちです。
500	備えあれば患いなし。
501	備えあれば患いなし。日ごろからの準備が大切。被災地で6か月間のボランティア体験があるので「想定外の事態」に備えることの重要性を実感しています。原発事故は天災ではなく人災です。未然に防げた事故を起こしてしまっただけから学び再発させない工夫や努力が肝要です。
502	備えあれば憂いなし に！つきますね
503	備えあれば憂いなしに尽きますね。
504	備えが必要なことは重々承知しているが、面倒でやっていない。備えをするよう、行政で尻をたたいてほしい。
505	備えた水や食料が無駄にならないよう、ローリングストックができるようになりたいので、簡単な方法（自分で用意するのは大変なので、カップヌードルが実施しているような定期購入など）を知りたいです。
506	備えているつもりでもどこか真剣味が足りない自覚もあり、今一度見直したい
507	備えておかなければなりませんね！ 今日から準備をします！
508	備えなければいけないのですが…。 水や食糧となると賞味期限などを考えておっくうになってしまいます。
509	備えなければならぬが、なかなかはかどっていない。アウトドアグッズを中心に揃えます。 まずは町内会主導でコツコツ練習したほうがいいね。
510	備えなければならぬと思いつつ、実際に必要になったことがないので後回しになっています。
511	備えについて、旦那と温度差が大きい。 「なんとかなるっしょ。」といつつ、いざとなったら「え？用意してないの？」と言出しそうで、厄介。
512	備えには様々なことを想定しなければならず、これでよしということは在りません！！ 日々精進です！！
513	備えはあったほうが良いと思うが、何をすれば良いか分からない
514	備えはしたいが自宅（マンション）が狭いため、保管場所が無いので困っている。
515	備えはもっとないと心配になる。
516	備えは必要だがお金がない
517	備えるのは金銭的にも負担が大きく、種類も豊富すぎて良いものがわからない。税金で購入し、各家庭に配布しておけばいいと思う。
518	備えれば憂いなし・・・ですね。これを機会に今少し備えます。
519	備えをしてない人が多いと思う。一人一人が何らかの備えをしてないと、災害初期に大きな混乱が生じると思われる。地道な啓発活動で、備えをしてない人がいなくなればと思う。
520	備えをどれだけすればいいのか目安がわからない
521	備えをもう一度確認したいと思います
522	備災教育が大切である。東京都「東京防災」のサイトは学校の授業で利活用したい。 <a href="https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1002147/index.html">https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1002147/index.html</a>
523	備蓄した食料、水等も被害が発生した時、取り出せない時はどうすれば良いか不安です。

524	備蓄していた食糧を先日廃棄したばかりです。大人二人だし、冷蔵庫に入っている品で何とか、と思っています。サバ缶、多種のソーセージ、チーズ、野菜、果物など。冷蔵庫使用出来ない場合を考え、大小さまざまな保冷剤を冷凍しています。
525	備蓄するにも食料だけでなく衣料や衛生用品も必要になるが、保管場所の確保が難しい。自治会などが倉庫を用意してくれると助かる。
526	備蓄の水一人1日3Lの内訳を教えてください。例えば、飲用何L、料理何Lなど。また、食べ物も一人辺りの品目や量も、例でいいので教えてください。
527	備蓄は、費用と場所の問題で、進まない。今後は、非常電源の確保も考えている。
528	備蓄は必要とわかってはいるが、おいておく場所がないのが問題となっている。
529	備蓄も大事ですが、普段からバッグにお菓子を入れてあります。
530	備蓄食料を世帯に配ってほしい。それを見て必要なものは追加していきたいです。きっかけを市や県に作っていただけると助かります
531	備蓄品は何をどれくらい、どこに保管すればよいか分からない事が多いし、難しい。
532	備蓄品を置いておく場所が段々と難しくなっているのが現状です。
533	必要がないと思っても最低限の備えはしておくべきだと思っている
534	必要と分かりつつも平和ボケしてできていない。また、災害用品とうたい、実際に使わないのでは？という商品が散見され購買意欲が下がってしまっている。
535	必要はかんじるのだが・・・。
536	必要性は感じているが、どのようにしたら良いかわからないものが多いように思う。
537	必要性を感じていない人はいないと思う。でも、なかなかそれをするには至らないだけのこと。結局、日常生活の中での優先順位が低いということなのだろう。啓蒙は行政の問題だと思うが、今のコロナ報道のような煽りは如何なものかと思う。適度な情報発信が必要なのでは。
538	不安に思うことが沢山あります。色々な方の体験談などを簡単に読めるコーナーなどがあると助かります。
539	怖い気持ち、備えの重要性は解っているが、向き合うことに目を背けている傾向にある
540	普段、災害時のことについて家族と話したり、家の備えの状況を確認したりする機会はありませんでしたが、これを機に意識を高めたいと思う。
541	普段からの備えが大事
542	普段から心がけなくてはと思いつつ、そのままにしています。反省し、備えたいと思います。
543	普段は何も考えていないが、いつ何処で何が起きるか、分からないのが実情です、最低限の備えはこれからも心がけて行きたいと思います。
544	複数の情報伝達手段を確保することも大事かと思う。情報の混乱やフェイクニュースのチェックができるように。
545	平常時に「災害用伝言サービス」を体験しようと思いました。
546	平素は意識しないので、普段からの連絡手段の周知活動が必要だと思います。
547	保育園で災害用伝言サービスを実施してくれており、とても助かっています。
548	保管庫が自宅の庭に欲しいが、費用の面で制限があるので、なるべく補助があると、1週間は持久できるのではないかと思います。あるいは隣組(自治会の班)単位でたくわえられるとよかな、と思います。
549	補助金や自治体で割引販売していると用意するかも
550	放課後、子供たちだけいる家で何をさせたらよいかわからない。
551	防災講座を実施して欲しい
552	防災用の食料品は割高に感じるので、例えば、スーパーで普通に買えるもので備えておくとも良いものといったリストがあっても良い。 あるいは、一度に買おうとすると高いので、サブスクのような形で毎月3000円/人払えば必要な水や食料、簡易トイレなどが届く仕組みなど。 ※これに例えば、簡単な冊子を入れておくとも届いたときには目を通しやすい。また、県産農産物を使った食料にすれば、同時に、埼玉の農産物を知るきっかけになる。
553	防災用品の充実
554	本県は地震発生頻度、発生予測等から、その備えについていつまでに、どれだけの備蓄品と量を備えるか、ここ数年悩み続けている。 (備えあれば憂いなし)と言われてはいるが、国は地震の発生予測の基本を発信してほしい世界一の地震国だから。発生予測は困難というが、国力を挙げてその精度を上げるべきだ。その時期が来ている。科学的な根拠もITを駆使した推進を図るべき。
555	本当は、2週間分程度の水と食料を自主的に備蓄したい。 家具の転倒防止も全てに実施したい。 避難用に貴重品や大切なもの、必需品をまとめておきたい。
556	本来は大変重要なことなのに、つつい後回しになってしまう。
557	毎月1日を防災点検の日と決めている。

558	毎年、地区自治会は消防署の指導の下に地震災害対策訓練を実地しています。お陰様で、地震の揺れの体験など安全について大切さを身近に感じています。
559	毎年、防災訓練には参加してきましたが、緊張感がないというか実感として捉えていないんでしょうね。
560	無いと思うより、起こりうると思って生活をしている。 実際の場合、他人とどれだけ助け合えるかが、重要だと思います。
561	無いように祈るばかり！！
562	無防備であることが分かった。少し改善する。
563	命を守る3つの自助の取り組みは十分には出来ていません。これから少しずつ対策していきたいと思います。
564	油断大敵
565	様々なシミュレーションを体験することが重要かと思います。地域の組織では集まりに期待できないので、職場や学校単位での機会を増やしていただけることを期待しています。
566	用意はしますが、その必要のないことを、そんな災害がないことを、せつにせつに祈ります。
567	来てほしくはないが対策はとっている
568	連絡方法など決めてはいるが、実際の状況でどこまで対応できるかが不安。